

2016年10月28日

## 経済レポート

# 2016年9月の家計調査の結果

～9月の家計消費は増加するも、均して見ると横ばい圏～

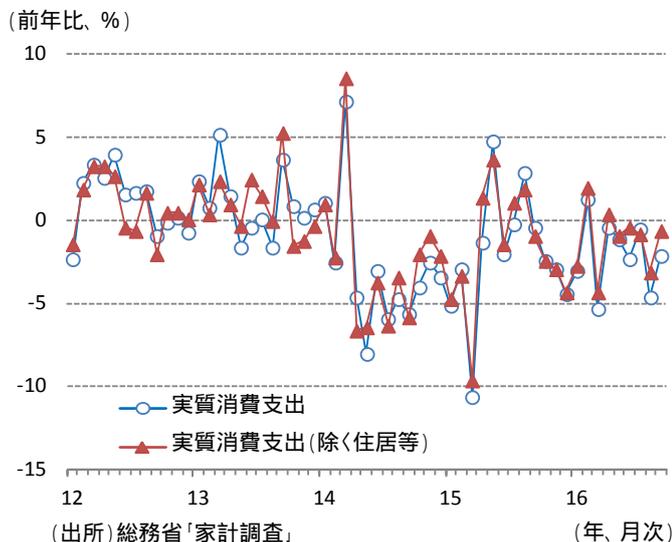
調査部 研究員 土志田るり子

## 9月の二人以上の世帯の実質消費支出は増加

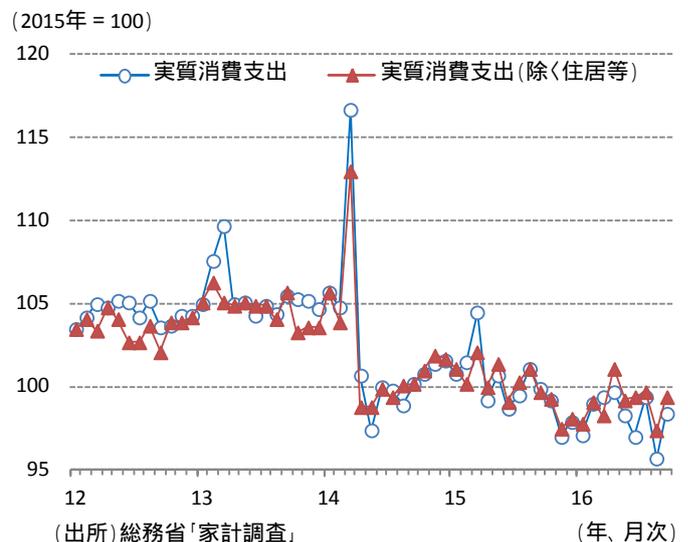
総務省「家計調査」によると、9月の二人以上の世帯の実質消費支出は前年比 - 2.1%と減少した(図表1)。また、月々の振れの大きい「住居」や「自動車等購入」を除いた実質消費支出(除く住居等)も、前年比 - 0.6%の減少となった。もっとも、季節調整値では前月比 + 2.8%と大きく増加した(図表2)。同じく、除く住居等でも前月比 + 2.1%と堅調に増加した。

7～9月期では二人以上の世帯の実質消費支出(季節調整値)は前期比 - 0.5%と減少し、除く住居等でも同 - 1.1%の減少となった。7～9月期の結果は、11月14日に発表される7～9月期QEの個人消費を推計する際の元データとなるため、実質GDP成長率が前期比で低めの結果となる可能性がある。

図表1 . 実質消費支出の推移(前年比)



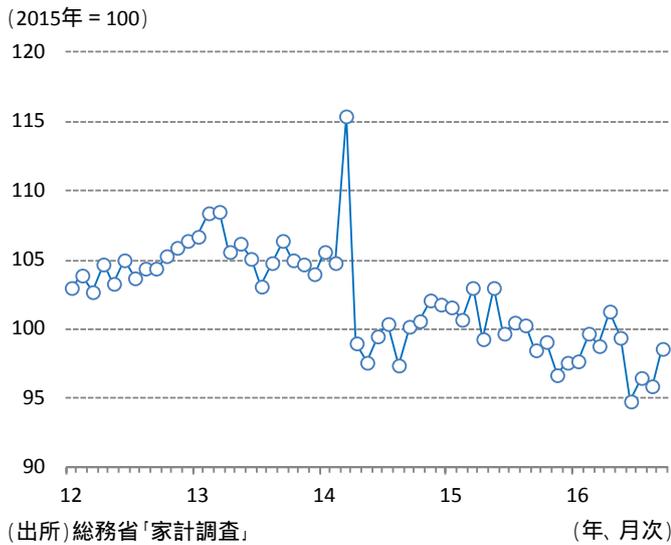
図表2 . 実質消費支出の推移(季節調整値)



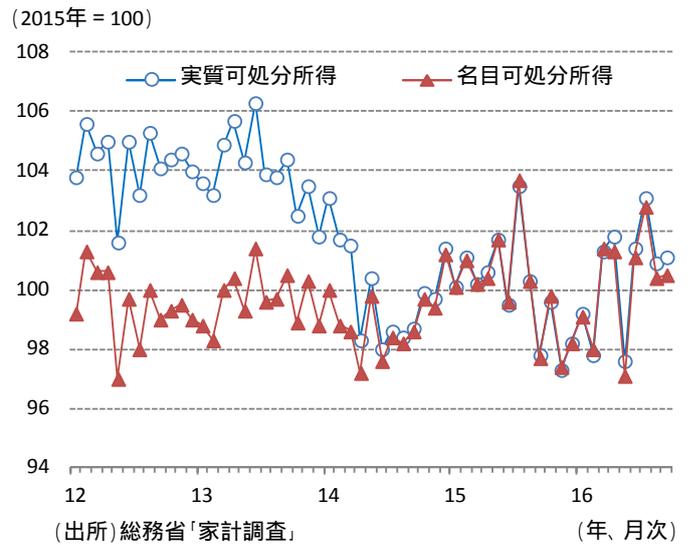
## 9月の勤労者世帯の実質消費支出も増加

二人以上の世帯のうち勤労者世帯について見ると、9月の実質消費支出は前年比 - 0.3%と減少したものの、前月比では + 2.8%と増加した(図表3)。消費の原資となる可処分所得(実質)が前月比 + 0.1%と増加するなど、足元では消費者物価の下落に支えられて実質所得が増加傾向にあるものの、消費支出はなかなか持ち直してこなかった(図表4)。このため消費性向(季節調整値)は低水準で推移していたが、9月は72.0%と前月から1.6%ポイント上昇しており、家計の節約志向の強まりが一服している。

図表3. 勤労者世帯の実質消費支出(季節調整値)



図表4. 可処分所得の推移(季節調整値)



## ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください。